

地域密着型サービスの 生産性をいかに高めるか？

平成30年2月24日(土) 於：エッサム神田ホール 2号館

在宅介護事業者の全国団体である「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会（略称：民介協）では、本年度、厚生労働省の老健事業の補助金を活用し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護および小規模多機能型居宅介護の生産性向上に関する調査研究を実施しており、研究成果の報告を兼ねた講演会を2月に東京にて開催いたします（第12回 全国事例発表会と同時開催）。

地域包括ケアの要となるサービスとして創設された定期巡回・随時対応型訪問介護看護、および小規模多機能型居宅介護は、その運営の難しさなどから全国的な普及啓発が進んでいない面があります。両サービスの運営のあり方を改めて考える機会として、本講演会をぜひご活用ください。

○日時	平成30年2月24日(土)10時半～11時40分 ※終了後、第12回 全国事例発表会を開催します。	時間	プログラム
○会場	エッサム神田ホール 2号館 4階・大会議室 (東京都千代田区内神田3-24-5)	10:00～	受付開始
○定員	200名(先着順)	10:30～	開会挨拶
○参加費	無料	10:40～ 11:40	講演 「介護事業の生産性向上について」 (仮題) 東北福祉大学 大学院総合福祉学研究科 小笠原 浩一 教授
○対象	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスの経営をしている方 ・介護事業所の現場で働く職員の方 ・自治体等の福祉部署の関係者 ・介護経営の研究者、介護経営を学ぶ学生 ※当日ご来場いただいた方には、後日、老健事業の成果物をお送りいたします。		

当日の13時より「第12回 全国事例発表会」も開催いたします。地区大会を勝ち抜いた全国8つの介護事業者による事例報告があります。また、好事例に関するパネル展示も行います。ぜひ、本報告会と併せてご参加ください。

◆講師略歴

東北福祉大学 大学院総合福祉学研究科 教授・経済学博士
小笠原 浩一 先生

専門分野は介護経営、サービス・イノベーション、福祉政策など。

埼玉大学経済学部教授を経て現職。ラウレア応用科学大学名誉研究フェロー、(一社)日本介護福祉経営人材教育協会理事、日本介護経営学会副会長など。

主な著書に『介護イノベーション』『介護経営』『地域医療介護のネットワーク構想』『社会福祉の新次元』『認知症の早期発見・初期集中支援に向けたラーニングプログラム』など多数。



■本件のお問い合わせ先・お申込み先



一般社団法人 『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（略称：民介協）

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 児谷ビル3階

TEL : 03-5289-4381 FAX : 03-5289-4382 電子メールアドレス : info@minkaikyo.info

「地域密着型サービスの生産性をいかに高めるか？」
参加申込書 (平成30年2月16日(金) 必着)

貴社名		ご連絡先	TEL:
			FAX:
ご住所			

参加される方全員のお名前・役職をご記入ください。
 また、当日午後からの事例発表会および事例発表会終了後の懇親会の出欠にも○印をつけてご返送ください。

	講演会参加者 お名前	事例発表会	事例発表会後の懇親会		講演会参加者 お名前	事例発表会	事例発表会後の懇親会
1		出・欠	出・欠	5		出・欠	出・欠
2		出・欠	出・欠	6		出・欠	出・欠
3		出・欠	出・欠	7		出・欠	出・欠
4		出・欠	出・欠	8		出・欠	出・欠

◆講演会会場の周辺地図

